

シムジア®による関節リウマチ治療を受けられる方へ

自己注射ガイドブック



シムジア®を正しく注射するために

監修 竹内 勤先生（埼玉医科大学 学長／慶應義塾大学 名誉教授）



左記二次元コードより自己注射動画を視聴できます

シムジア.jp

www.cimzia.jp/pts/movie.html

監修者の所属・役職は2023年8月時点の情報です。

シムジア®の自己注射に関するお問い合わせはこちらのフリーダイヤルへ



0120-88-4620

24時間受付

シムジア®の自己注射をはじめられる患者さんへ

シムジア®は、患者さんの生活スタイルや体の状態を考慮し、簡単に自己注射を行っていただけるように工夫がされています。

シムジア®は皮下に注射するお薬で、「オートクリック®」と「シリンジ」の2種類のタイプがあります。

本ガイドブックでは、患者さんまたは患者さんのご家族のために、シムジア®を安全に正しく自己注射するための手順とポイントを解説しています。

本ガイドブックを読んでわからないことがある場合は、主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

⚠ 重要な注意事項

自己注射とは、患者さんご自身またはご家族の方によって行われる注射のことです。自己注射を安全に正しく行うためには、実際に注射される方が、主治医から十分な説明を受けた後に、主治医、看護師または薬剤師による指導のもと、注射方法を練習する必要があります。自己注射を開始するには、主治医の判断が必要です。そして、シムジア®投与中は必ず注意事項を守りましょう。



目次

自己注射を安全に正しく行うために大切なこと……	4
シムジア®の投与スケジュール ……………	6
保管方法 ……………	7
注射準備 ……………	8
注射部位 ……………	10
シムジア®投与中に注意すること ……………	11
後片付け ……………	12



オートクリックス®

- オートクリックス®の特徴 …………… 14
- キャップの外し方 …………… 15
- お腹に注射する場合 …………… 16
- 太ももに注射する場合 …………… 19
- ご家族の方が注射をされる場合 …………… 20

シリンジ

- シリンジの特徴 …………… 22
- キャップの外し方 …………… 23
- お腹に注射する場合 …………… 24
- 太ももに注射する場合 …………… 27
- ご家族の方が注射をされる場合 …………… 28

その他

- 注射の痛みを和らげるには …………… 30
- 災害に備えて …………… 31
- Q&A …………… 32

自己注射を安全に正しく行うために大切なこと

- 自己注射を安全に正しく行うためには、実際に注射される方が、主治医から十分な説明を受けた後に、主治医、看護師または薬剤師による指導のもと、注射方法を練習する必要があります。
- 自己注射を開始するには、主治医の判断が必要です。
- いったん自己注射を開始しても、次のような場合には、途中で通院注射に切り替わる場合があります。

患者さんが通院注射への変更を希望した場合

主治医が通院注射が望ましいと判断した場合

- 患者さんもしくはご家族の方が自己注射を適切に行えないなど、主治医が自己注射の練習が再度必要と判断した場合には、通院注射に切り替え、再度、主治医、看護師または薬剤師の指導のもと練習を受けていただくことがあります。
- 自己注射がうまく行えない場合や、わからないことがある場合は、必ず主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

シムジア®の自己注射に関するお問い合わせはこちらのフリーダイヤルへ



0120-88-4620

24時間受付

自己注射開始までのステップ

自己注射の開始は、次のステップに従って行います。

通院でのシムジア[®]の投与

主治医による自己注射についての説明

主治医（看護師または薬剤師）の
指導のもと注射方法を練習

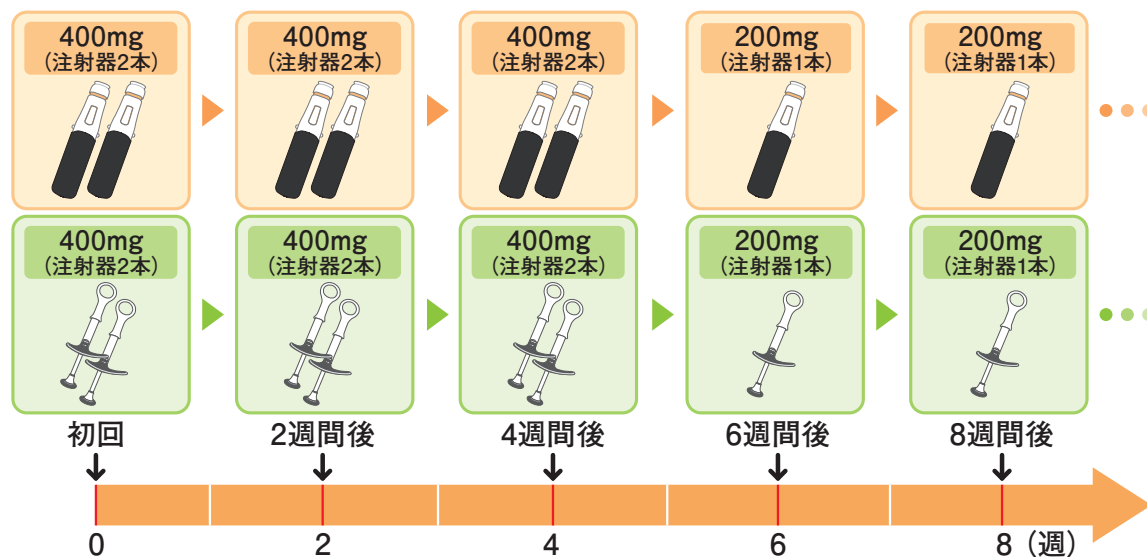
自己注射手技を習得

主治医の判断により自己注射開始

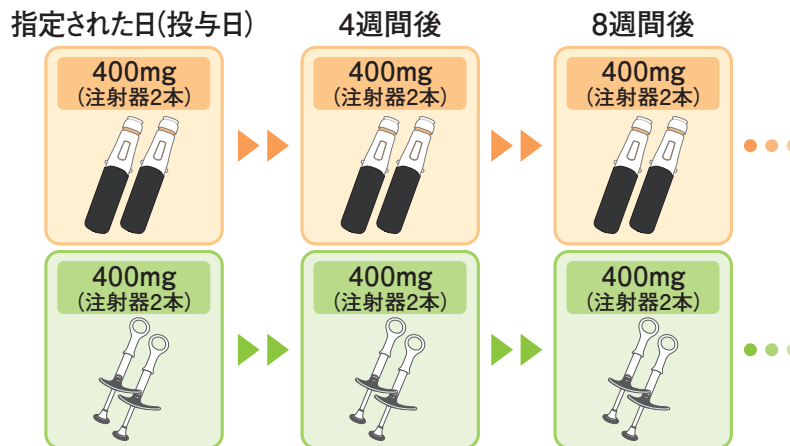
- 練習期間や回数は患者さんによって異なります。
- この間は、通院しながら主治医、看護師または薬剤師と一緒にシムジア[®]を自己注射します。
- 自己注射の開始を主治医が判断します。

シムジア®の投与スケジュール

初回から4週目までは、2週間に1回400mg（注射器2本）を投与し、6週目以降は、2週間に1回200mg（注射器1本）を投与します。

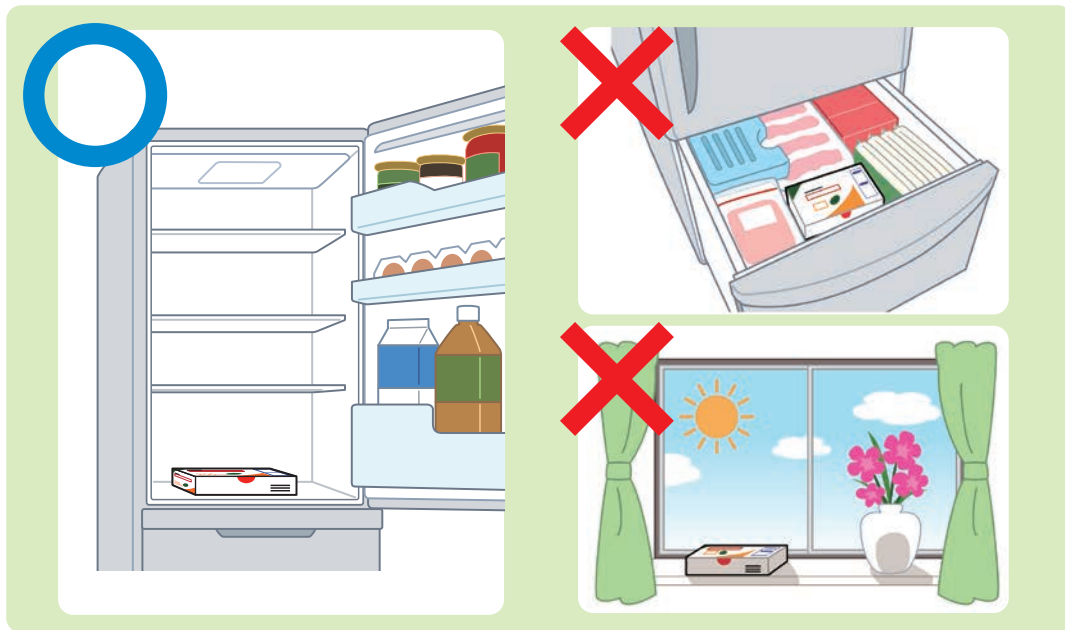


症状が安定してきたら、主治医の判断によって、4週間に1回400mg（注射器2本）に変更することも可能です。



保管方法

- シムジア®は病院、薬局から帰宅後速やかに箱のまま（遮光を保つため、破損を防ぐため）、必ず冷蔵庫（2℃～8℃）で保管してください。
- 冷凍室に保管して凍結させないでください。凍結の恐れがあるので、チルド室や冷気の吹き出し口の近くに置かないようにしてください。
- 直射日光に当たる場所や高温多湿の場所に置かないようにしてください。



外出時や病院からの運搬時には、保冷バッグを使用し、冷蔵保存してください。



子どもの手の届かない場所に保管してください。



※ご家族にお薬（注射器）であることを説明しておいてください。

注射準備

以下のステップで注射準備をします。

1

シムジア[®]を箱のまま冷蔵庫から取り出して、室温に戻します(30分程度が目安です)。

薬液が冷たいと痛みを感じることがあります。



- ・電子レンジや湯せんなどで温めない。
- ・お薬が凍結していたもの(解凍した場合も含む)は使用しない。
- ・長時間放置しない。

2

明るく、平らな場所を確保し、テーブルの上や配置マットを清潔にしておきます。



3

手を石鹸で十分に洗います。



4

注射器を箱から取り出します。

オートクリックス[®]



- ・注射する直前までキャップは外さない。
- ・再度キャップはしない。
誤って注入が開始する恐れがある。

シリンジ



- ・注射する直前までキャップは外さない。
- ・再度キャップはしない。
針が曲がる恐れ、針刺しの恐れがある。

5

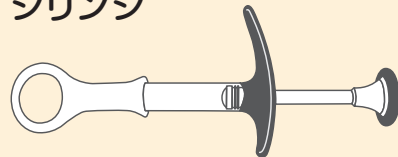
注射器と薬液について、次のポイントを確認します。

- 注射器が破損していないか
- 注射液の中に明らかな粒子はないか
- 注射液が変色していないか
(注射液は本来、透明、わずかな黄色、または乳白色のような色です)

オートクリックス®



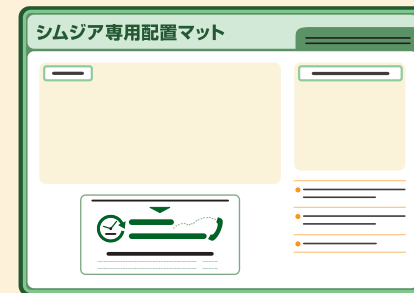
シリンジ



万一、異常が見つかった場合、注射をする前に主治医、看護師または薬剤師に必ず連絡してください。

6

配置マットの上に、注射器とアルコール綿を並べます。



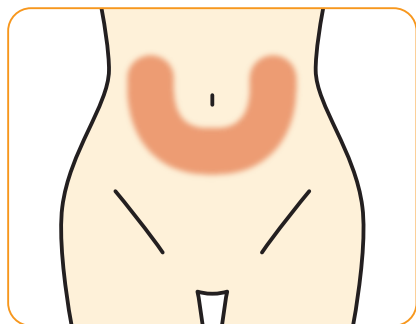
- 主治医から指示された本数の注射器を用意します。
- 注射直前まで、キャップを外さないでください。

❗ 注射当日に体調の悪い場合は、注射前に主治医に相談してください。

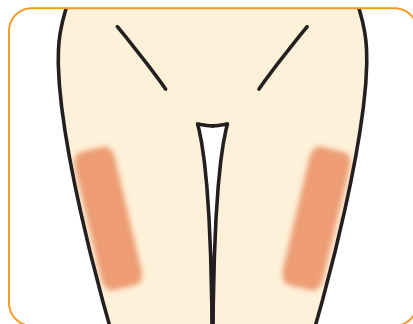
注射部位

注射する部位は主治医、看護師または薬剤師に確認して進めてください。

- 患者さんご自身で注射される場合は、お腹か太ももに皮下注射してください。
 - ご家族の方が注射される場合は、上腕部にも注射できます。
 - 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
 - 前回とは違う部位に注射してください。
 - 皮膚が敏感な部位、皮膚に痛みや赤みがあったり、ケガをしていたり、硬くなっているなどの部位は避けてください*。
- ※乾癬のある患者さんは、乾癬の皮膚症状(赤み、発疹など)がある部位も避けてください。
- 毎回、注射した箇所を「投薬手帳」に記録しましょう。
 - アルコール綿にかぶれる場合は、主治医、看護師または薬剤師に伝えてください。

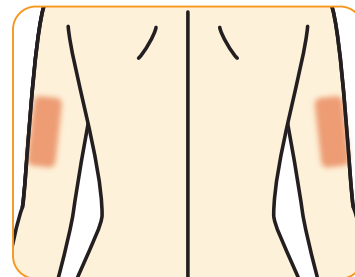


お腹



太もも

ご家族の方が注射される場合



上腕部

おへその周囲(約5cm)は避けてください。

シムジア[®]投与中に注意すること

シムジア[®]を投与中に次のような症状があらわれた場合は、すみやかに主治医、看護師または薬剤師に相談してください

- ！ 鼻水、くしゃみ、鼻づまり、頭痛、寒け、食欲がない
- ！ 全身がだるい、皮膚や白目が黄みがかっている
- ！ のどが赤い、のどの腫れ、のどの痛み
- ！ 痛みを伴う発疹
- ！ 発熱、震え、発汗
- ！ せき、痰、息苦しさ
- ！ 体重が減った
- ！ 視力の低下、物が二重に見える、眼球が震える、目の痛みなどの目の症状
- ！ 注射部位の異常（赤み、腫れ、痛み、かゆみ、出血）

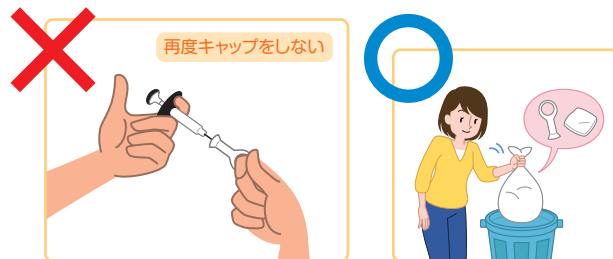
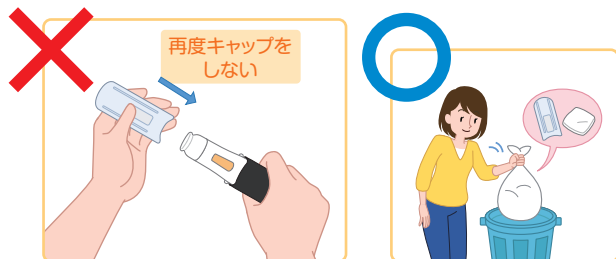


このほか気になる症状があらわれた場合には、診察日を待たずにすぐに相談してください。

後片付け

使用済みオートクリックス®の入った廃棄袋、使用済み注射器の入った廃棄容器は小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

- 注射後は、注射器に再度キャップをしないでください。
- アルコール綿は、特に指示のない限り、家庭ごみとして捨ててください。
- キャップは、家庭ごみとして捨てるのが可能です。



オートクリックス®

- 使用済みオートクリックス®はシムジア®オートクリックス®専用廃棄袋に入れてください。
- 使用済みオートクリックス®の入った廃棄袋は家庭ごみとして捨てないでください。折りたたみバッグに入れ、医療施設へ持っていくようにしてください。
- シムジア®オートクリックス®専用廃棄容器もあります。



シリンジ

- 使用済み注射器は、シムジア®シリンジ専用廃棄容器に入れるなど、医療施設から指示された方法で捨ててください。
- 使用済み注射器の入った廃棄容器は家庭ごみとして捨てないでください。医療施設からの指示に従ってください。



記録をつけましょう

シムジア®の注射をはじめた日から、
記録をつけましょう。
体調管理や副作用の早期発見に役立ちます。
通院時には投薬手帳を持参し、
必ず主治医に見せてください。

*「投薬手帳」をご活用ください。



オートクリックス®の特徴



※接地面：注射部位と接触する面

オートクリックス®は、ひとつの箱に1本ずつ入っており、1回使い切りです。

キャップの外し方

- 安全・清潔にキャップを外します。キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

オートクリックス®を横に向け、左右に**真っ直ぐ**に引っ張ります。



【その他のキャップの外し方】

グリップをおさえ、キャップを引っ張る



テーブルなどの上に手を置く

! **注意** キャップを外す際には以下の点に気をつけてください。



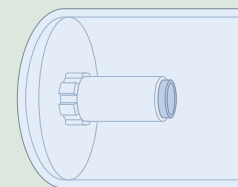
一度外したら、再度キャップをしない

キャップをひねらない

薬液が出なくなったり、薬液が漏れてしまうことがあります。

針保護カバー

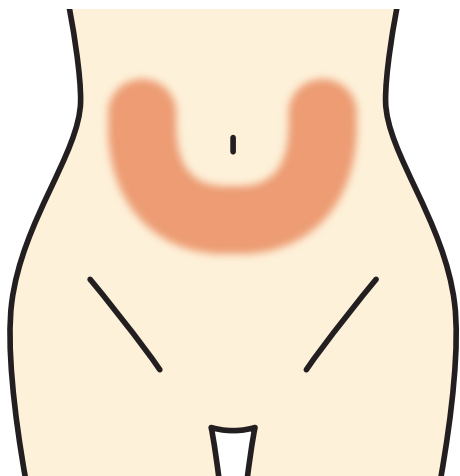
オートクリックス®のキャップには針を保護するカバーがついています。



お腹に注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



おへその周囲(約5cm)は避けてください。

【注射方法】

- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 前回とは違う部位に注射してください。

1

注射部位(皮膚)をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。



消毒した場所は、注射するまで何も触れないようにしてください。

2

安全・清潔にキャップを外す

オートクリックス®を横に向け、左右に真っ直ぐに引っ張ります。

キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

詳しくはp.15参照

3

オートクリックス®は「カチッ」という確認音が2回鳴ります。

1回目は注入開始の「カチッ」、2回目は注入終了の「カチッ」

当てる



注射部位に対して90度の角度で当てます。

押し込む



「カチッ」と鳴るまで押し込みます。ロックが解除され、自動的に針が出て、薬液の注入が始まります。

待つ



2回目の「カチッ」が鳴ると注入が終わり、針は自動的に格納されます。注入が終わったら、離します。

2回目の確認音が鳴るまで体から離さないでください。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

※皮膚の状態に合わせて、注射器の接地面と皮膚が平らになるように皮膚をのぼしたり、つまんだりしてください。

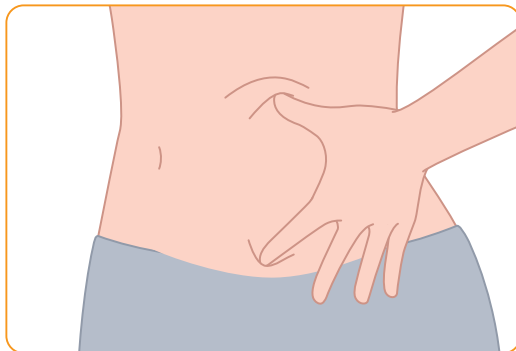
CHECK



その他の注射方法

注射方法は医師、看護師に皮膚の状態をみてもらい、皮膚の状態に合わせて、のぼしたり、つまんだりしながら打ちましょう。

のぼして打つ

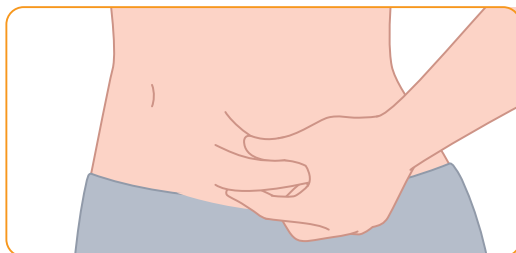


立って打つ

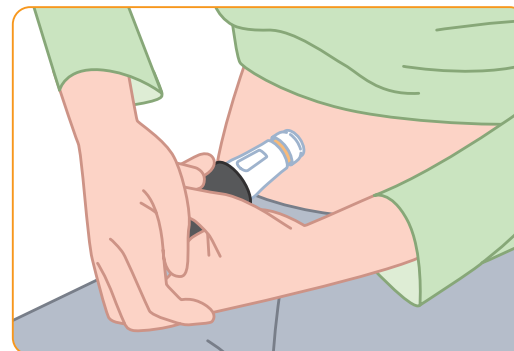


立って打つことにより、お腹に張りができ打ちやすくなります

つまんで打つ



両手で打つ

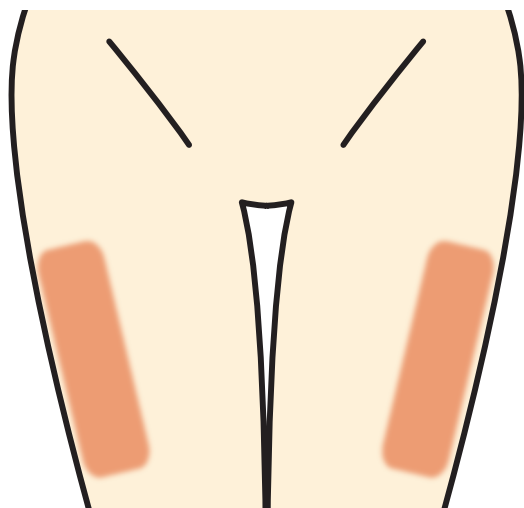


皮下脂肪が少ない方（注射部位をつまんだとき、指と指の幅が2cm以上ない場合）は、注射部位をつまんでください

太ももに注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



膝の上から5cm、足のつけ根から5cmの部分は避けてください。

お腹に注射する場合 (p.16-17参照)

【注射方法】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。
- 注射部位に対して**90度**の角度で当てます。
 - ・ 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
 - ・ 前回とは違う部位に注射してください。



つまんで打つ



皮下脂肪が少ない方（注射部位をつまんだとき、指と指の幅が2cm以上ない場合）は、注射部位をつまんでください。

ご家族の方が注射をされる場合

ご家族の方が注射をする場合も、
注射方法の指導を必ず受けてください。

【注射部位・注射方法】

- お薬を持つ手と反対の手で皮膚をしっかりとつまんでください。
- 注射部位に対して**90度**の角度で当てます。
 - ・ 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
 - ・ 前回とは違う部位に注射してください。

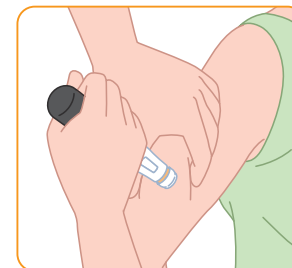
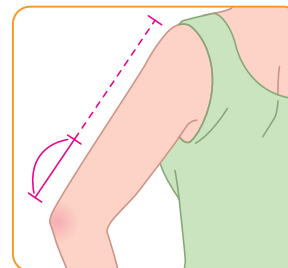
お腹



太もも



上腕部



- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。
または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 上腕部後ろ側に注射します。

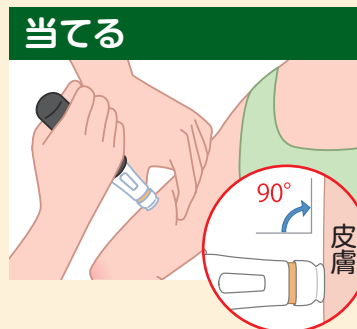
【注射方法（上腕部の場合）】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。

オートクリックス®は「カチッ」という確認音が2回鳴ります。

1回目は注入開始の「カチッ」、2回目は注入終了の「カチッ」

当てる



注射部位に対して90度の角度で当てます。

押し込む



「カチッ」と鳴るまで押し込みます。ロックが解除され、自動的に針が出て、薬液の注入が始まります。

待つ



2回目の「カチッ」が鳴ると注入が終わり、針は自動的に格納されます。注入が終わったら、離します。
2回目の確認音が鳴るまで体から離さないでください。

アルコール綿



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。
注射箇所をもまないでください。

シリンジの特徴

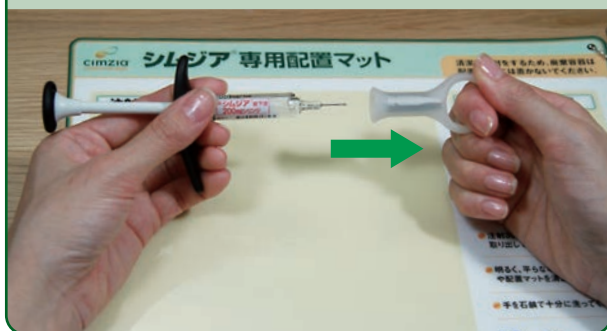


シリンジは、ひとつの箱に1本ずつ入っており、1回使い切りです。

キャップの外し方

●安全・清潔にキャップを外します。キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

シリンジを横に向け、真っ直ぐに丸い輪のキャップを引っ張ります。



【その他のキャップの外し方】

キャップ全体を握ってキャップを外す

キャップをおさえ、シリンジを引っ張る



テーブルなどの上に手をおく

！注意

キャップを外す際には以下の点に気をつけ、注射針に触れない、曲げないようにしてください。

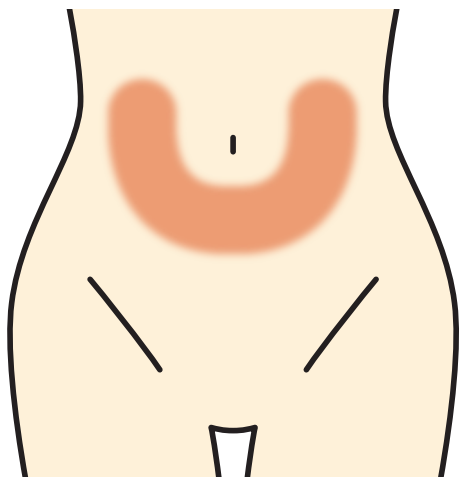


安全に外せるよう、使いやすいほうの手でキャップを外してください。 ※設計上、お子様には外しにくいキャップになっています。

お腹に注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



おへその周囲(約5cm)は避けてください。

【注射方法】

- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 前回とは違う部位に注射してください。

1

注射部位(皮膚)をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。

消毒した場所は、注射するまで何も触れないようにしてください。



2

安全・清潔にキャップを外す

シリンジを横に向け、真っ直ぐに丸い輪のキャップを引っ張ります。

キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

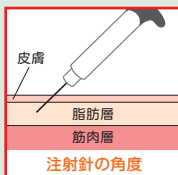
詳しくはp.23参照

気泡抜きは必ずしも行う必要はありません。

3



注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。

注射針の角度は30～60度です。



ゆっくりと薬液を注入します(ピストン棒を最後まで押しきってください)。



薬液を全部注入したら、同じ角度で注射針を抜きます。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

CHECK

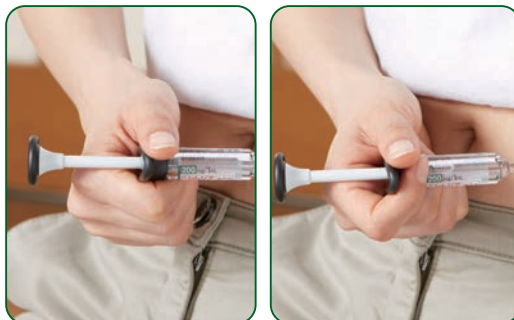


【穿刺方法】

えんぴつ持ちをして刺す



グリップを握って刺す



注射器全体を握って刺す



CHECK



【注入方法】

人差し指でパッドを押す



手のひら全体でパッドを押す



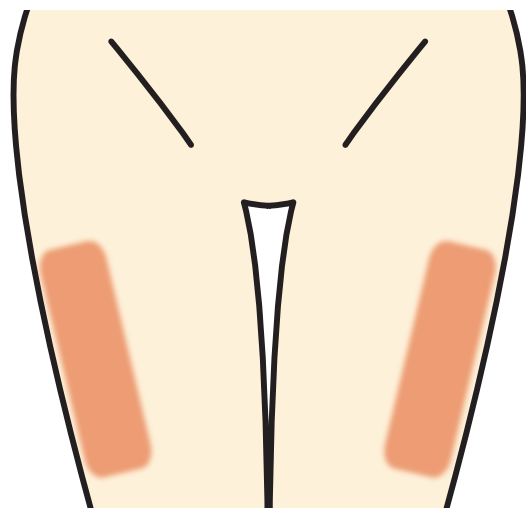
グリップ全体をつかみ握るようにパッドを押す



太ももに注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



膝の上から5cm、足のつけ根から5cmの部分は避けてください。

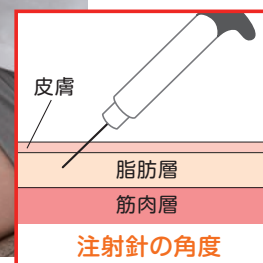
お腹に注射する場合 (p.24-25参照)

【注射方法】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。
- 注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。
 - ・ 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
 - ・ 前回とは違う部位に注射してください。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。



注射針の角度は30～60度です。

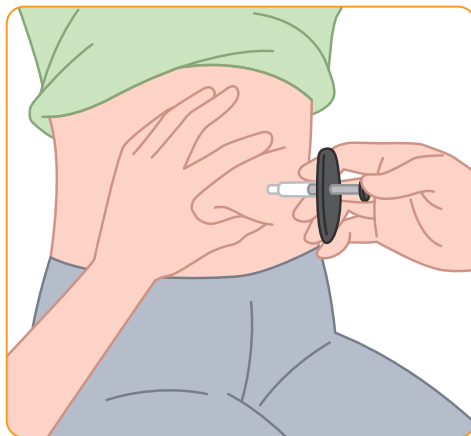
ご家族の方が注射をされる場合

ご家族の方が注射をする場合も、
注射方法の指導を必ず受けてください。

【注射部位・注射方法】

- お薬を持つ手と反対の手で皮膚をしっかりとつまんでください。
- 注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。
 - ・ 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
 - ・ 前回とは違う部位に注射してください。

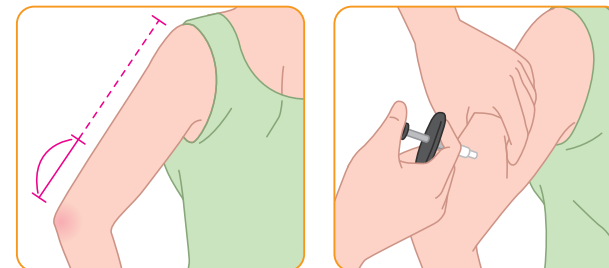
お腹



太もも



上腕部



- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。
または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 上腕部後ろ側に注射します。

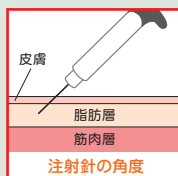
【注射方法（上腕部の場合）】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。

気泡抜きは必ずしも行う必要はありません。



注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。

注射針の角度は30～60度です。



ゆっくりと薬液を注入します（ピストン棒を最後まで押しきってください）。



薬液を全部注入したら、同じ角度で注射針を抜きます。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

注射の痛みを和らげるには

注射の痛みを和らげる方法はいくつかあります。
ご自分に合う方法を工夫してみてください。

- 皮下脂肪が厚い、ふくよかな部位に注射してください。
- 緊張していると痛みを感じやすいため、リラックスした姿勢や深呼吸を行うと和らぐとも言われています。
- 薬液が冷たいと一般的に痛みを感じることもあるので、必ず室温に戻してから注射してください。
- 注射する箇所の感覚を鈍くするために、注射部位を1～2分ほど保冷剤などで冷やしてください。冷やした後、消毒してください。また、注射部位を注射前に温めることで痛みが和らぐこともあります。

(シリンジのみ)

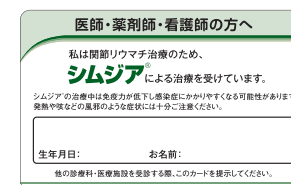
- 注射針を刺すときに時間をかけると痛みを感じやすいので、注射針は素早く刺してください。
- 薬液を急速に注入すると痛みを感じやすいので、薬液はゆっくり、時間をかけて注入してください。



災害に備えて

災害はいつ発生するかわかりません。
普段から災害への備えをしておきましょう。

- 医師から処方されるお薬は数日分を余分に持っておきましょう。
- 病名、合併症、服用中の薬剤名を把握しておきましょう。
治療歴や病状を伝えられるもの（お薬手帳や投薬提示カード）を携帯しておくように心がけましょう。お薬のメモをお財布に入れたり、携帯電話で写真を撮っておくことも、もしものときに役に立ちます。
- 災害時の緊急持ち出し用セットを用意しておきましょう。
マスク、アルコール消毒液やアルコールシート、水、保存食など備蓄できるものは揃えておきましょう。
- 停電に備えておきましょう。
シムジア®などの冷蔵保存が必要な薬剤の保管に備えて、保冷剤を凍らせておくようにしましょう。ただし、シムジア®を冷凍庫に入れたり、凍らせたりしないようにしてください。
- 緊急時の連絡手段を確認しておきましょう。
被災時にご家族や主治医と確実に連絡がとれる手段を確認しておきましょう。
- 被災所での感染症には十分に気をつけましょう。



Q&A

シムジア[®]全般について

Q シムジア[®]を注射する時間はいつが良いですか？

A.注射は1日のうちいつ行っても構いません。ただし、忘れないように毎回同じ時間に決めておいたほうが良いでしょう。主治医と相談してください。

Q シムジア[®]を注射し忘れた場合はどうしたら良いですか？

A.主治医に連絡をとり、指示を受けてください。

Q シムジア[®]の注射予定日に注射することができない場合、どうしたら良いですか？

A.あらかじめ旅行など注射をするのが難しいことがわかっている場合は、主治医に相談し、指示を受けてください。

Q 注射する部位はどのように決めたら良いですか？もしくは、毎回同じ部位に針を刺しても良いですか？

A.皮膚が敏感な部位、皮膚に痛みや赤みがあったり、ケガをしていたり、硬くなっているなどの部位は避けてください。一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。また、前回注射したところと同じ部位には注射しないでください。自己注射の指導を受ける際に医師、看護師に皮膚の状態をみてもらいご相談ください。

Q シムジア®はなぜ室温に戻す必要があるのですか？

A.薬液が冷たいと痛みを感じやすくなるためです。また、シムジア®の薬液は粘稠度が高いため、シリンジでは冷たいままですと内筒が押しにくい場合があります。

Q OXO Good Grips (オクソー グッドグリップス)って何ですか？

A.OXO社は、日々の生活をより快適にするという理念のもとに、米国で設立された会社です。今から25年以上前、OXO社の創業者は関節炎を患っている妻が、調理でピーラーを使用する際に苦勞していることに気づき、どのような方であっても、快適に使用できる調理器具の開発を始めました。その後、徹底したリサーチ、数百回にも及ぶ試作・設計の繰り返しを経て、1990年、OXOの象徴であるピーラーを含む15種類のOXO Good Grips®キッチンツールが米国市場に初めて導入されました。現在OXOには、生活を便利にする2,000種類以上の製品があり、その全てが、思いやりのあるデザイン、革新的な機能及び快適さ、信頼性を持ち合わせています。シムジア®のデバイス（注射器）はOXO社と共同開発された人間工学に基づいたユニバーサルデザインで、「使いやすさ」「機能性」「滑りにくさ」を追求した製品です。

Q&A

オートクリックス®をご使用の方へ

Q オートクリックス®が押せない(動かない)場合はどうしたら良いですか？

A. オートクリックス®を箱に戻して、主治医、看護師または薬剤師に連絡してください。

Q 体に当てる前にオートクリックス®を押してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. 誤ってオートクリックス®が作動した場合、針が出て終了するまで薬剤が流出します。針に注意し、薬液の流れを中断しないようにしてください。薬液の流出が終了すると、針は自動的に格納されますので、使用済み廃棄袋に保管し、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注入が終わる前に体から離してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. 針が出ていますので刺しなおしたり、薬液を止めようとせず、薬液の流出が終わるまでそのままにしてください。注射を繰り返すことはせず、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注射針は見えないのですか？

A. オートクリックス®は1回目の「カチッ」で針が出て、2回目の「カチッ」で針が自動的に格納されるため、目に触れることはありません。注射の流れにおいて、目や手に触れることがないので、安全に注射が行えます。

Q&A

シリンジをご使用の方へ

Q シムジア[®]の注射器の内筒(大きなパッド)が押しにくい場合はどうしたら良いですか？

A. 薬液が冷たいと内筒が押しにくい場合があるので、必ず室温に戻してください。シムジア[®]の薬液はPEG化^{ペグ}を施しており粘稠度が高くなっています。詳細は別冊子の「シムジア[®]による関節リウマチ治療を受けられる方へ」P.8をご参照ください。

Q シムジア[®]の注射針を、誤って指に刺してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. その注射器を再び刺すのはやめてください。注射器に残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注射の途中で、皮膚から針が抜けてしまった場合はどうしたら良いですか？

A. その注射器を再び刺すのはやめてください。注射器に残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、相談してください。

〈緊急時の連絡先〉



Devices designed
in partnership with



GOOD GRIPS

CIMZIA®はUCB PHARMA S.A., Belgiumの登録商標です。
OXO, GOOD GRIPSはHelen of Troy社の登録商標であり、同社よりライセンスされて使用しています。

ユーシービージャパン株式会社

アステラス製薬株式会社

(2023年8月作成) INF-Σ

CIM95002A03
JP-P-CZ-RA-2300259